

西条自民
クラブ

楠 學 議員



- (代表質問)
- 1 本市の将来像に関する市長の考え方について
 - 2 国際交流について

道前クリーンセンター
更新の見通しは？

問 過去に建設された多くの公共施設が老朽化しているが、更新が必要とされる道前クリーンセンターについては、どのような整備スケジュールと費用を見込んでいるのか。

答 直ちに施設を更新する場合、新施設は最短で平成39年度から供用開始される見込みだが、用地の決定な



老朽化している道前クリーンセンター

どに時間を要すると供用開始が遅れる可能性がある。また、施設の基幹的設備を改良した後に更新する場合、平成36年度までに基幹的設備を改良し、現施設を10年間稼働させ、その間に新施設の計画・建設を行い、平成47年度から供用開始する見込みとなる。新施設の建設費用は現時点で算出できていないが、修繕などに要する経費は、更新する場合、約63億3千800万円が必要で全額一般財源となる。一方、基幹的設備の改良を行った後に更新する場合は、約63億5千300万円が必要となるが、交付金と合併特例債を合わせて約34億9千600万円を充てることのできる。

藤井武彦 議員



- (議案質疑)
- 1 スマートシティ構築トリアル事業について
 - 2 骨髄バンクドナー支援事業について

骨髄バンクドナー登録者の
増加策を！

問 骨髄バンクドナー登録者数を増やすことが急務であるが、骨髄バンクドナー支援事業により得られる効果をどのように考えているのか。

答 骨髄移植するドナーの検査や入院費用は無料であるが、休業補償は行われないため、移植の実現には、ドナー本人の経済的負担の軽減と併せ、勤務事業所からの後押しも重要である。こうした状況を踏まえ、本事業では、

1回の骨髄などの提供につき、ドナーに対して10万円、勤務事業所に対して5万円を助成する内容としている。本制度の創設により、ドナーの経済的な負担が軽減されるとともに、勤務事業所からの理解も得やすくなるものと思われ、その結果、ドナー登録者が増えることにより適合者が増え、更には、適合後の辞退者も減れば、一人でも多くの命が救えるものと期待している。

高橋 保 議員



- (議案質疑)
- 1 ローカルファンド構築推進事業について
 - (一般質問)
 - 1 平成31年度の教育行政方針について
 - 2 持続可能な開発目標(SDGs)の取組について

後を絶たないいじめ被害
防ぐための取組は？

問 いじめ防止対策推進法施行後もいじめを苦しむ児童や生徒が自ら命を絶つケースが相次いでいる。いじめは重大な人権侵害であり、絶対に許されない行為であるが、いじめの防止に向け、どう取り組んでいるのか。

答 平成27年度の「西条市の基本的な方針」策定以降、学校では、いじめに対し組織的に対処するようになり、早期発見、早期解決につながっている。

また、いじめ防止等対策連絡協議会や西条市いじめSTOP小・中学生会議を開催するなど、児童・生徒一人一人を大切にする教育の推進に取り組んでいる。



基本方針